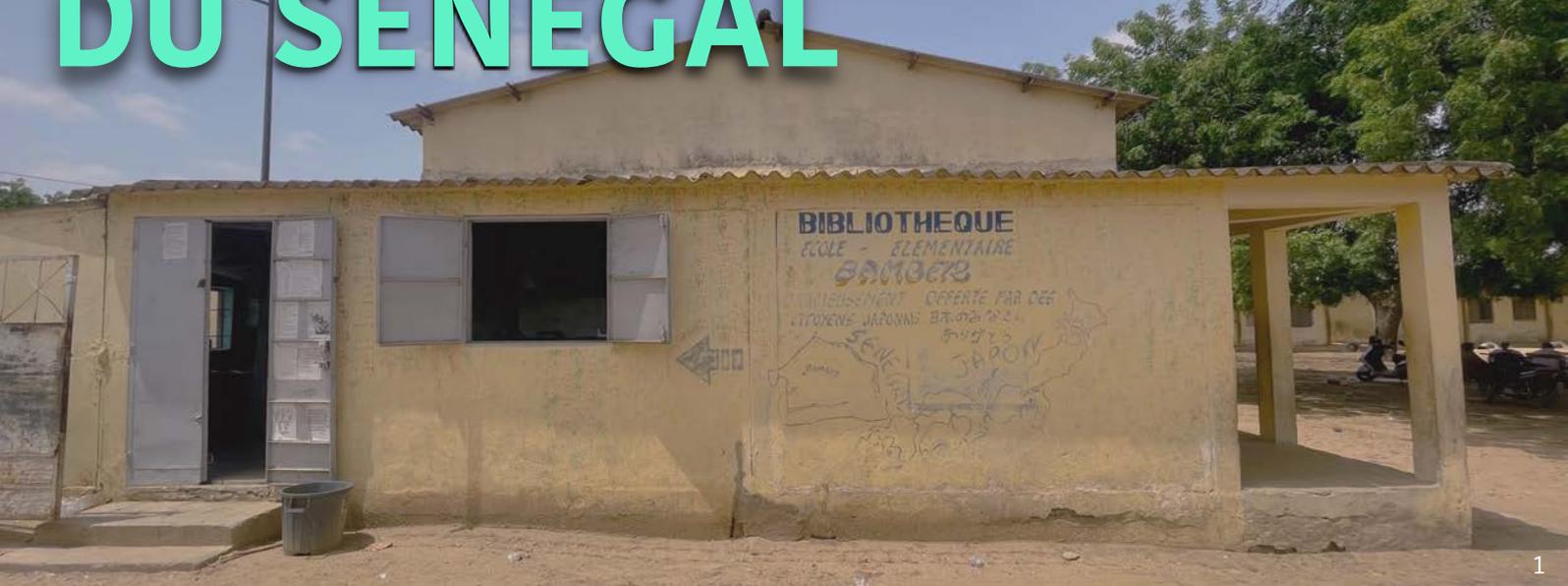


# LA LETTRE DU SENEGAL



## Bonjour ! 任地バンベイでの生活スタートです

みなさんこんにちは！青年海外協力隊2023年度4次隊、青少年活動・松岡愛実です。セネガル共和国のバンベイ（Bambey）という町の視学官事務所（教育委員会にあたる組織）に所属し、小学校図書室を拠点に子どもたちへの読書アクティビティの推進を主な活動として行っていく予定です。さて、7月からついに任地バンベイでの生活がスタートしました！バンベイは首都ダカールから車で約2時間半ほどの場所に位置します。首都にあるような大きなスーパーマーケットやカフェなどはなく、どこで何が買えるのか、何があるのか、着任当初は全くの未知でした。町中を歩いていても日本人に会うことはもちろんなく、ひとり任地が心細くもあります。そんな時に、同じ州のンバケ（Mbacké）から先輩隊員が遊びに来てくれました！心細かったバンベイでの生活でしたが、先輩がウォロフ語で会話している姿や、一緒に仕立て屋さんに行きワンピースのオーダーを手伝ってくれたおかげで、バンベイでの生活が少しずつ楽しくなってきました。町中をひとりで歩くのはまだ少し勇気があるけれど、少しずつ声をかけてくれる人が増えてきて、ホームシックも和らぎつつあります。今回は、バンベイでの基本的な生活と活動スタートについて書きました。

①活動先の小学校図書室 ②ヤッサジェン。炒めた玉ねぎと揚げ焼きの魚が白米にのった料理。 ③バンベイの町並み。アスファルトより砂地が多い ④近所の仕立て屋さん。3日ほどで完成したワンピースは見本を20秒ほど見ただけで忠実に再現されていた ⑤同僚宅で頂いたヤッサプレ。こちらは玉ねぎと鶏肉と白米 ⑥日差しが強く暑い日中はヒツジも木陰でひとやすみ ⑦ンデッキ（朝食）屋さん。バゲットにツナや卵、豆のソースなどの具材がサンドされているセネガル人の朝ごはん。1食200F（約60円）とお手頃



松岡愛実（セネガル名はファトゥ・ンジャイ）。高知県出身。青年海外協力隊2023年度4次隊員。青少年活動で2024年5月からセネガル派遣中。首都ダカールから東に約130km離れた場所に位置する「Bambey（バンベイ）」の小学校図書室を拠点に、子どもたちの読書推進と図書室の運営維持を主な活動として取り組む予定。食べ物を前にすると目が輝く。セネガル料理（通称セネ飯）がとにかく大好きな29歳。



## バンベイのライフライン

バンベイのライフラインは整備されてはいるものの不安定です。水は日中出ないことが多いので貯め水が必須です。電気については、1日のうちに一度は停電になったりしますが、数分程度で復旧する場合があります。セネガルでは、電気料金は前払い式です。専用の機器があり、支払いはスマホからできるので便利です。ガスは、近所のブティック（個人商店）でガスボンベを購入し、ガスが切れたら交換してもらいます。



## 電子マネーが大活躍！

バンベイは地方の小さな町ではありますが、首都同様に電子マネーがかなり普及しています。そのおかげで電気代や食品など大抵の買い物は電子マネーで支払うことができます。ATMがないので、現金を引き出すことのほうがかえって難しかったりします。



## 雨季の洗礼、停電&大雨の夜

我が家は風通しのために、一部壁がなく網戸だけ張られた箇所があります。大雨と停電のダブルパンチの夜に、そこや寝室の窓から雨が侵入してきて壁や床がびしょ濡れになりました。家の中に水たまりができたのは人生初の経験です。止むのをただ待つことしかできませんでしたが、雨が降ると涼しくなり、普段弱いシャワーの水圧が強くなったりと悪いことばかりではないことも分かりました。濡れた床も想像以上に早く乾き驚きました。

# バンベイでの生活

## La vie à Bambey



## 図書室の大掃除スタート



**活** 動先の図書室は、バンベイで以前活動していた隊員が子どもたちの学力向上のため、地域の人びとと協働し、校長室を改装して建てられました。当初は貸出や図書室の開放もしていたよう

ですが、現在は貸出や立ち入りが制限され、本は埃を被り図書室は物置となってしまうのが現状です。雨漏りの影響から本が濡れてしまい読めなくなっているものもありました。まずは、図書室として機能するよう、大掃除と蔵書点検を実施しようと動き始めました。夏休み期間中に終わらせるのが目標です。毎度出会うネズミやトカゲ、小さな虫たちに悪戦苦闘しています。

## 今月のウォロフ語

▶▶ Man japonais laa(マン ジャポネ ラー)

意味：私は日本人です。

## 校庭はポイ捨てだらけ？！

**活** 動先の小学校は7～9月の3ヶ月間は夏休みなので、子どもたちも先生も基本的に学校には来ませんが、その間

学校は中学卒業認定試験の会場や、地元のサッカーチームの宿泊所などとして使用されています。普段、生徒たちが遊ぶであろう校庭にポイ捨てされたゴミが散乱していました。この日は、まずは校庭から掃除に取り掛かりました。飲み終わっ



た袋水（セネガルには袋に入った飲み水が売られています）のポイ捨てがひどく、ゴミ箱がそばにあるにもかかわらず、足元に捨てるのが当たり前の様子でした。校庭で30分程度ゴミ拾いをしたのですが、袋水のゴミが130個ほど落ちていました。ダカールと比較しても、バンベイは校内に限らず町中でもポイ捨てがとても多いように感じています。

